



や、やだっ…
いやです…これから一生この身体なんて…!
か、返してっ…返してっ…返してっ…ぼくの…身体…

アラサー豊満シスターさんが
熟れた身体を年下冒険者くんに
押し付けるはなし

原作 なまむぎ
漫画 羅ぶい
企画 あむあいおかし製作所



はあっ...♡

はあっ...♡

せつ

せつ

せつ

しゅわん♡

しゅわん♡

しゅわん♡

しゅわん♡

んうっ...!

せつ

せつ



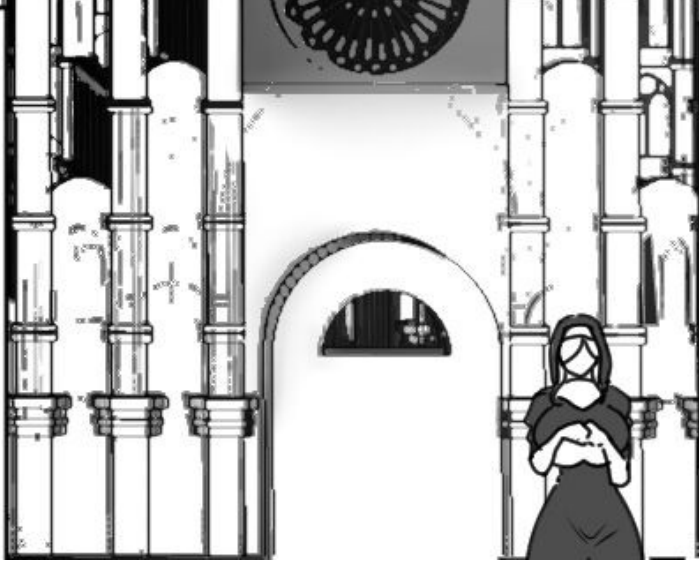
はー♡

はー♡

また…
してしまいました…

…ああ

私はエリスといいます



とある田舎町の教会で
シスターを務めています
仕事と言えば稀に
近くのダンジョンで
呪いを受けた
冒険者の方たちが
解呪を求めて
いらっしゃるくらいです

ですが聖職者である私には
その役職に似つかわしくない
ある秘密がありました…

それが…これ

私の身体は普通の人よりも
性欲が強いのです

若いころから
日に1度は性欲を発散
させなければ我慢が
できないのです

ひとり遊びを覚えて
もう20年近く…その間
自身を慰めない日は
ありませんでした

そしてその
結果でしょうか

月日を経るにつれて
私の身体はどんどん
女性らしさを
増していきました

それに性欲も
ますます増すばかりで…

トロ〜

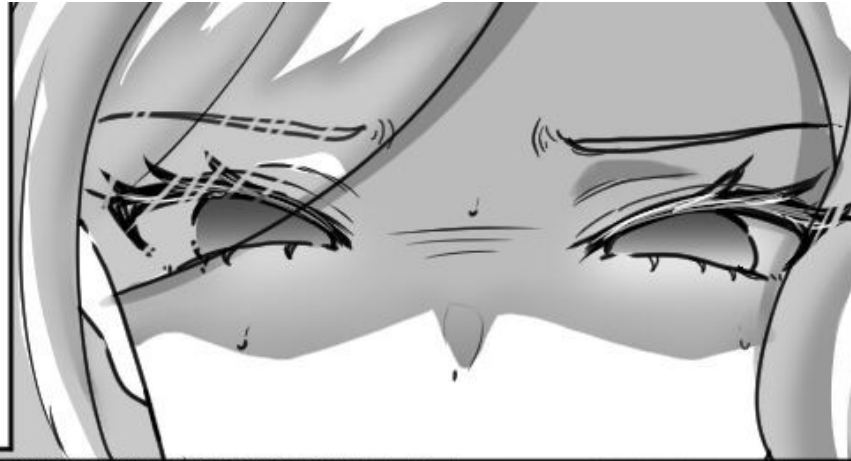
アッ

ぷりん

ゴッ

快楽とはいえ
それも過ぎれば
苦痛でしかありません

私にとっても
この身体で
味わう快楽は
もはや苦痛に
なりつつあります



こんな淫乱な
身体なんて捨てて
この肉欲から逃れたい…

そのためなら
たとえ悪魔に
魂を売ってでも…

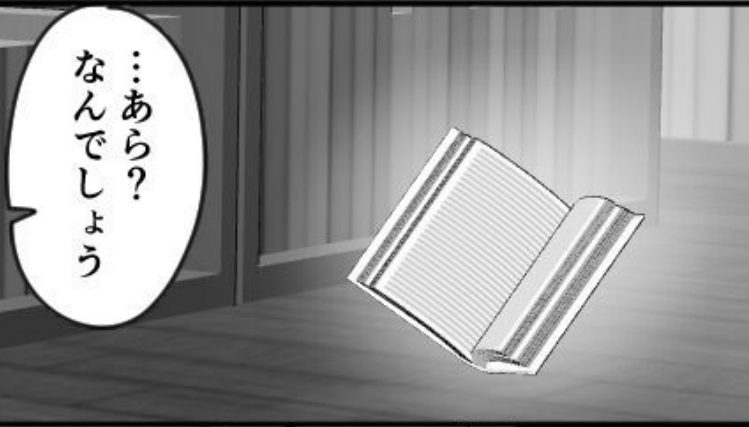
最近の私は
そんなことばかりを
考えています



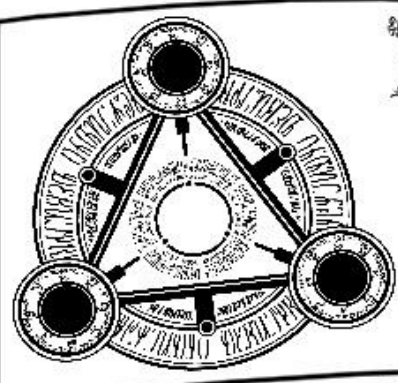
…はあ

書庫の隅に忘れ去られていた
その書物は
かつて教団が邪教徒から
押収した魔導書でした

…あら？
なんでしょう



…そしてそこに
掲載されていたのは
外法として禁じられた
様々な呪術でした





もうっ！

ぼやぼやしてるから
変なトラップ
なんて踏むのよ
リック！

わ わかってるよ
ミア

今度から
気を付けるって



あら
冒険者さん
ですか？

実はこの近くのダンジョンで
呪いを受けてしまって…
こちらで解呪して
いただけませんか？

はい

承知いたしました

フギッ

すぐに解呪
いたしますので
こちらへどうぞ

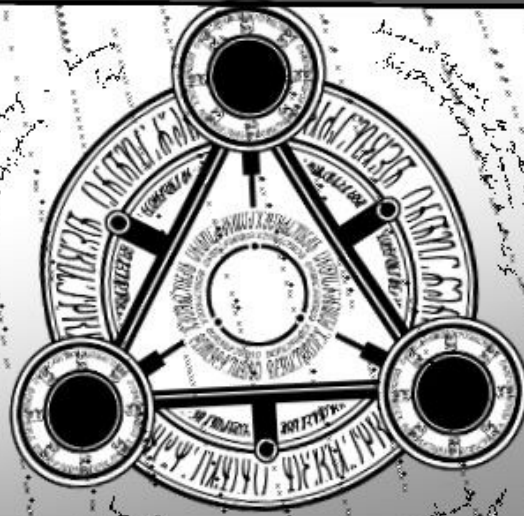
お連れの方は
こちらで
お待ちください

か
千
ヤ



あ あの…
これは…？

これですか？
これは解呪のための
魔法陣です



どうぞ
お気になさらず



それではさっそく
解呪を始めます

ス
…

お
お願いします



な
なんだろう…

フ
…

…
？

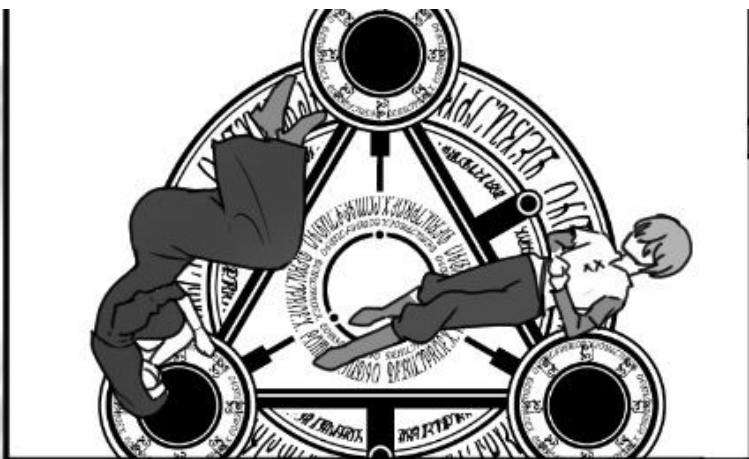
い
いしきが…
う…すれ…て…





せ 成功…した…
のですか？

す すごい…！
本当に私の身体が
あの冒険者様のものに…



…はっ!?

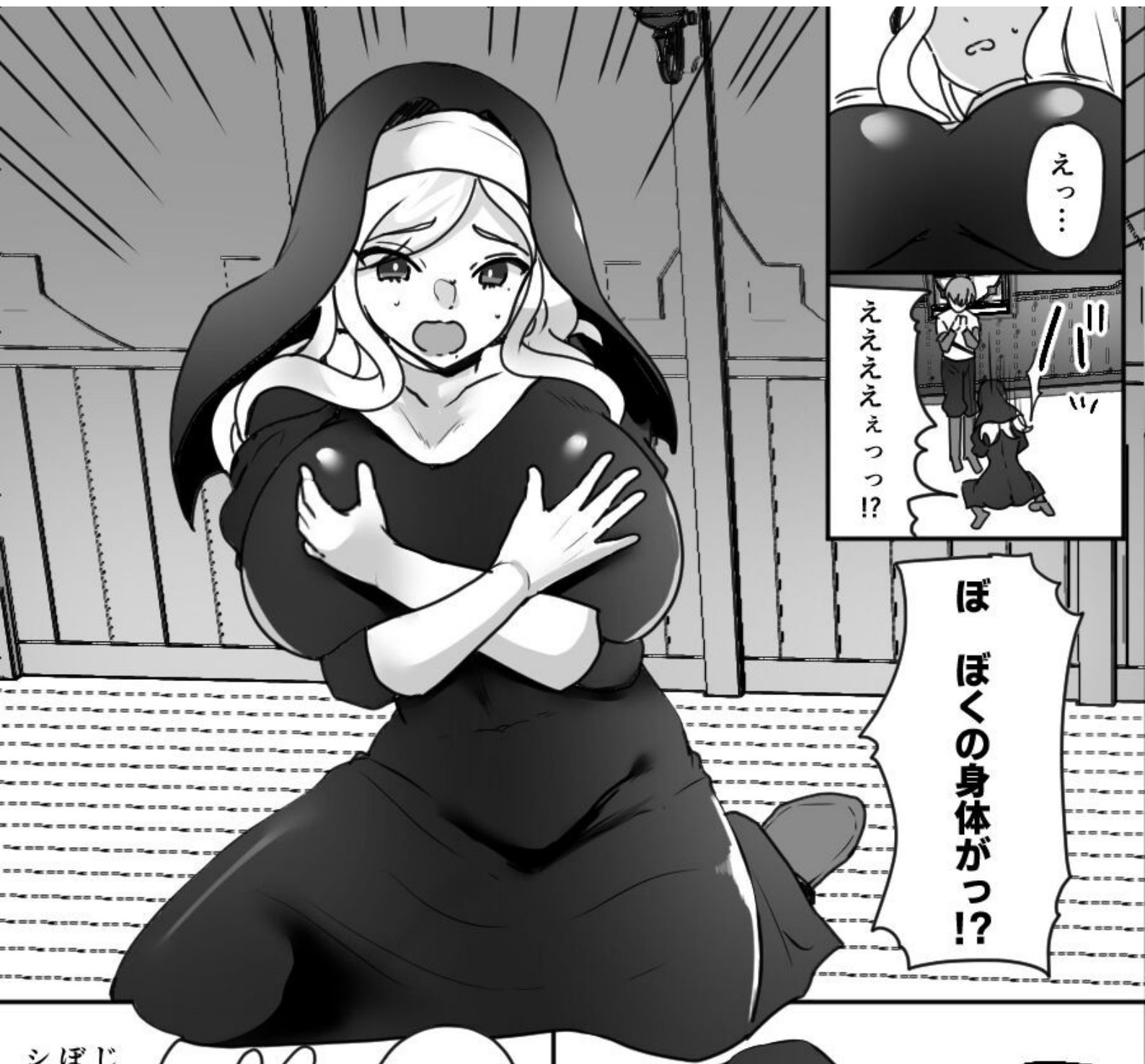


他人と魂を
入れ替える呪い…
半信半疑でしたが
本物だったなんて…！

今の私は…
あの身体から
解放されている…

あの身を蕩かすような
淫欲とは無縁な身体で
生きていられている…っ！





えっ…

えええええっ!?

ぼ ぼくの身体がつっ!?



じゃ じゃあ
ぼくは今
シスターさんの身体に!?

どうやら私たちの身体…
入れ替わってしまった
ようですね

お気を確かに

ス…

どうやら冒険者様が
受けた呪いは
周囲の人と身体を
入れ替えてしまう
ものだったようです

私も気が付き
ませんでしたか…

そ
そんなっ！

…もちろん
これは嘘

彼が受けたのは
一定期間力が少し
落ちる程度の
簡単な呪いでした

それも私が呪いを
上書きしたせいで
今は消えています

ほら見てください
呪紋が浮かんで
いるでしょう？

これが私たちの
受けた呪いの証です

本当だ…

も元には
戻れるんですか!?

安心してください

この呪いは
入れ替わっていることを
誰にも知られずに
ひと月経てば
自然に解呪されます

誰にも
バレずに1ヶ月…

じゃあミアに
このことを伝えるのは…

ええ お連れの方にも
このことは黙ったまま
お互いに互いのふりをして
生活しなければなりません

そ そう…
なんですか…

大丈夫
しばらくの
辛抱ですよ

ひと月経てば
自然に身体は戻って
この呪紋も
消えるはずですよ

…ですから

お互いに成り済ますため…
あなたのことを色々
教えていただけますか?

…それじゃあ
ぼくらは失礼しますね
シスターさん

また数日したら
呪いを見てもらいに
来ますから

あう…

はい…
わかりました…

さ
行こうかミア

魔導書に
記された
この呪いの
効果は1ヶ月

入れ替わった2人が
身体を重ねると
この状態のまま
固定されてしまえますが
そうでなければ
自然に元の身体に
戻るそうです

ごめんなさい
冒険者さん

ひと月の間…
私にこの身体を
楽しませてください

ひと月したら
ちゃんと身体は
お返ししますから

ですからその間
あなたは私の
身体でお過ごしください



こうして私は冒険者である
リックさんの身体をお借りして
生活することになりました

この身体で
過ごす生活は
とても素晴らしい
ものでした

身体を動かす
というのが
こんなにも
楽しかったなんて

巨大なやお尻のない
引き締まった少年の身体

元の私の身体からでは
想像もできない
ことでした

それに…この身体に
なつてからというもの
性欲を持て余して
懊悩することはありません

こうして別の身体で
過ごしてみると
元の身体の性欲が
どれだけ強かったのか
よくわかります

事前にリックさんに
教えてもらっていたおかげで
連れのミアさんも
私が入れ替わっていることに
全く気が付いていないようです

ニッ…

ニッ?

そして：
入れ替わって
から数日がたって

私は元の自分の
様子を見るために
教会を訪れました

どうでしょう

私としての生活は
うまくいっていますか？

はい

まだシスターさんの
身体にはまだ
慣れないですけど
生活の方は大丈夫です

でも…あの…

どうかしましたか？

？

はい…あの… なんだか
わからないんですけど…

シスター様の
身体になってから
身体が…
いつも熱いんです…

お腹の奥がすごく
切ない感じがして…
頭もぼんやりするし…

何か欲しいような
気がして
堪らないんです

夜もあまり
寝つけなくて…

これって…
あの呪いのせいですか？

それとも
何かの病気でしょうか…？

モミ

身体が熱い…
ですか

…ああ
なるほど

この子 私の身体で
性欲を溜め込んで
しまっているのですね

入れ替わってから
今日で5日…

その淫乱な身体で
それほど溜め込んでいるのは
さぞつらいでしょう

彼は元々男の子…
まして『そういうこと』を
まだ知らない年齢です

女の身体の性欲が
何なのか
理解できていないのしょう

あ あの…
シスター様…
どうなんで
しょうか…?

…大丈夫ですよ

それは呪いの効果や
病気ではありません

ただ身体の中に
悪いものが溜まって
いるだけです

悪い…
もの？

ええ
そうです

安心してください

1179

今から私が
あなたを楽にして
差し上げますから





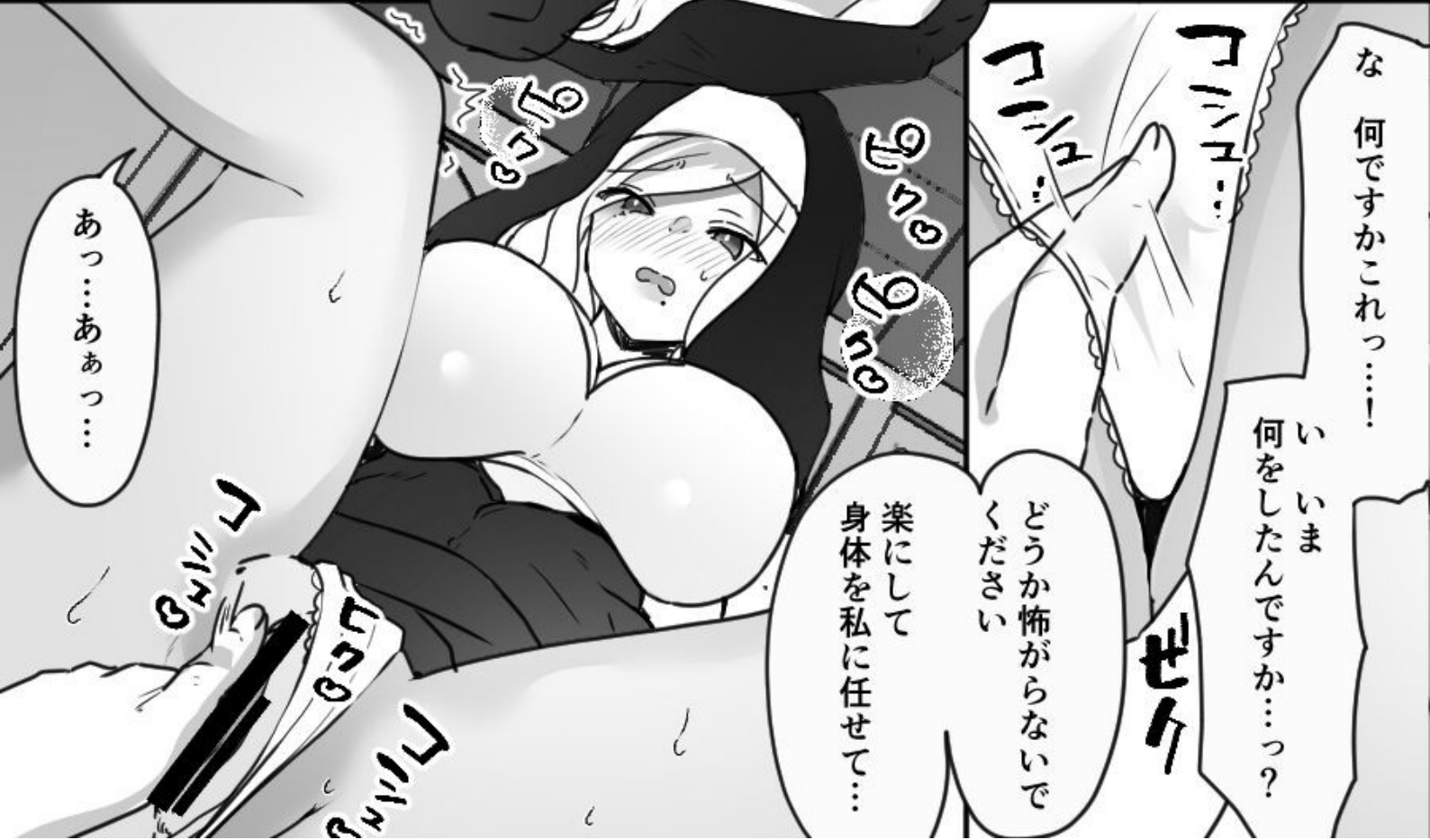
シ
シスター様っ?
な 何を…っ!?



少しの間
我慢してくださいね

ひああっ!?

セク...



な 何ですかこれっ…!

いま
何をしたんですか…っ?

どうか怖がらないで
ください
楽にして
身体を私に任せて…

セク

あっ…ああっ…

ヒクヒク

ヒクヒク



初めての快感に耐えている姿
元の自分とは言えとても
可愛らしいですね

少し…虐めたく
なってしまうます

ふふっ

ス...

せり

もげもげ

ぐぎゅ

な 何これえっ!

や やめっ!!

やめてくださいっ!

おっおっ!



ここんなの

は...

ぼくっ
あたまがおかしく
なってしまう
ますっ!

は...

だめですよ

今やめても元の苦しい
状態に戻るだけです

は...

は...

その身体に溜まった
悪いものを追い出すには
最後までしないとけません





ふああああああっっ！

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



ふふ そんなに
気持ちよかったですか？

っああ…

どうでしょうか？
これで少しは身体の方も
楽になったのでは
ないかと思えます



…は はい…っ…

こうしてリックくんは
女性の快樂を知りました

この日以降 彼はみるみる
それに溺れていくこと
なりました



またつらくなったら…
こうして悪いものを
発散してください

それなら遠慮せずに
自分でしても結構ですよ

それからも
私は定期的に
教会を訪れました

私が室内に入ると
彼は毎度のように
自身を慰めていました

その淫らな姿からは
純粹無垢な少年だった
元の彼の姿を想像することは
到底できません

あまりに絶頂を迎えすぎて
ほとんど意識を失い ながらも
彼はそれでも何かに
取り憑かれたように

あつ…
やつ…

あんっ

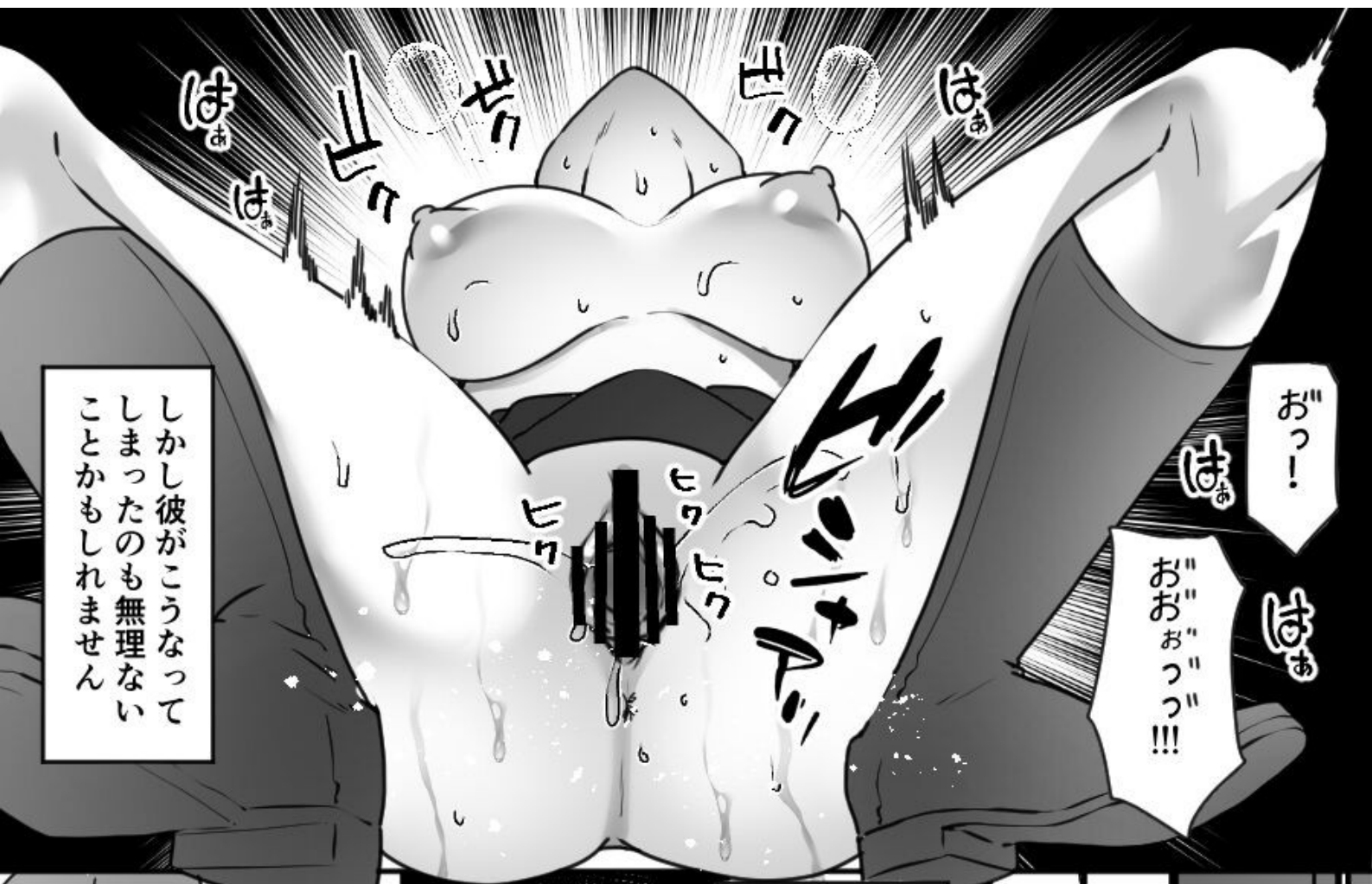
はあ…
はあ…

はあ
や やらあつ…

もうイキたくない…
イキたくないのに…
手が止められないよおお…っ

フ…
フ…

はあ



しかし彼がこうなってしまったのも無理ないことかもしれない

おっ!

はぁ
おっおっ!!!



そしてそんな元の身体の痴態を見て……私の中で ある思いが膨れ上がっていきました

しかも20年近くかけて開発されてきた熟れた身体での蕩けるような快楽を味わってしまったのですから
こうして……純粋な少年だった彼はわずかひと月の間で元の私以上に淫乱な女に落ちていきました

性欲な知識もない少年がいきなり女性の快感を……

私は……あんな身体に戻りたくない……



そして私たちが
入れ替わってから
もうすぐひと月：

私はその日も
教会を訪れていました

ガチャッ

…ある目的を胸に抱いて

はっ
はっ



すみませんっ！

シスター様の
身体でまた勝手に…

モジ

モッ

モジ

でも…
ど どうしても
我慢ができません…っ

かたがは…

そ その…ま 毎日…
10回以上は…

そんなに…

ううっ…

大丈夫ですよ

でもここ最近
私に来るたびに
致していますけれど
1日に何回くらい
されているのですか？



どうやらこの子は
もうすっかり女性の
快感に嵌って
しまったようですね…

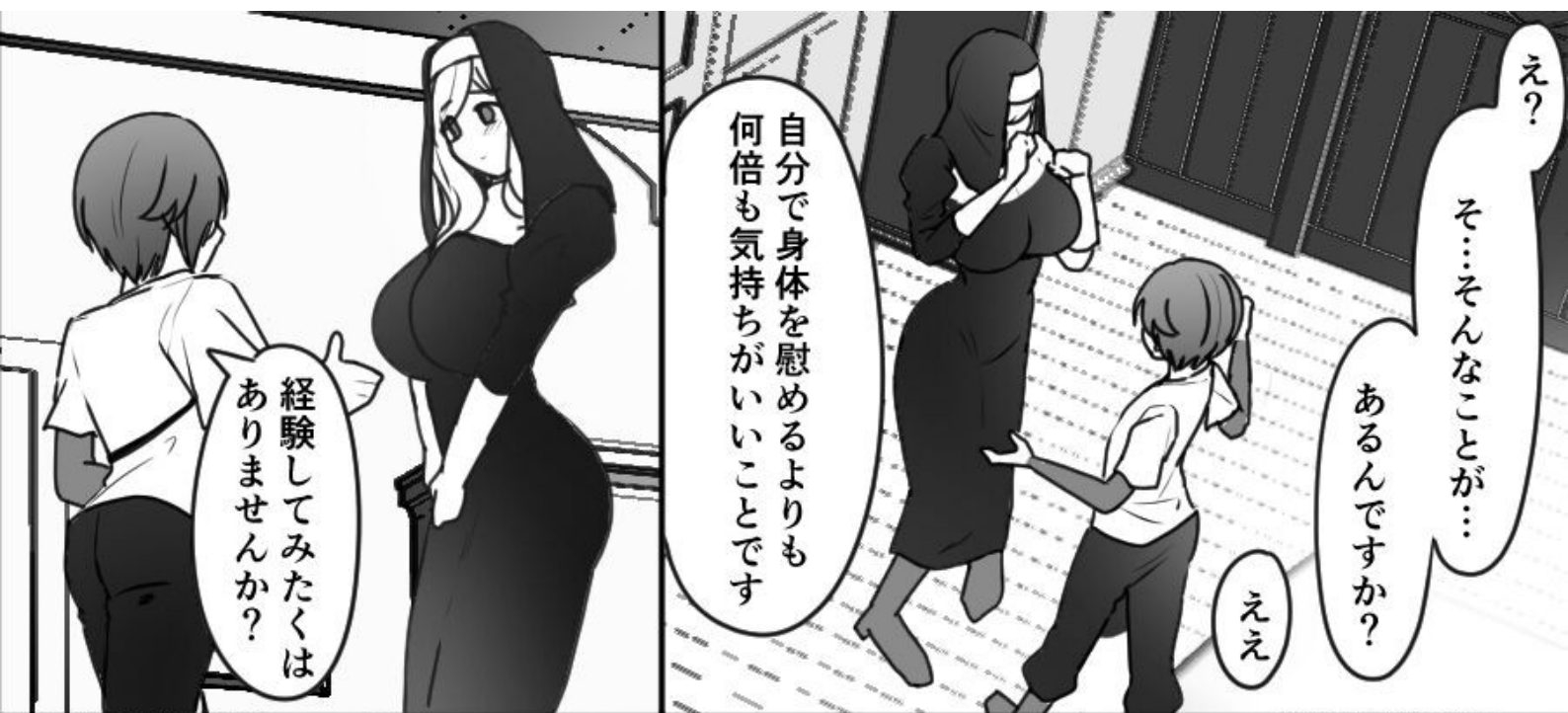
そんなに…私の身体が
気に入ってくれたなら…

…あの

実はその身体
自分でするよりも
もっと気持ちいいことが
あるんです

興味は…
ありませんか？





経験してみたくは
ありませんか？

自分で身体を慰めるよりも
何倍も気持ちがいいことです

え？

そ…そんなことが…

あるんですか？

ええ



あ あれよりも…
もっと気持ちがいい…



はい…

お願いします…

すべてはあなたの
お気持ち次第です

あなたが望むのなら…
私がそれをして差し上げます

どうぞでしょう

ああの
どうして
シスター様も
服を脱いで
いるんですか？



ドキ

ドキ

もちろん
気持ちいい
ことをするため
ですよ

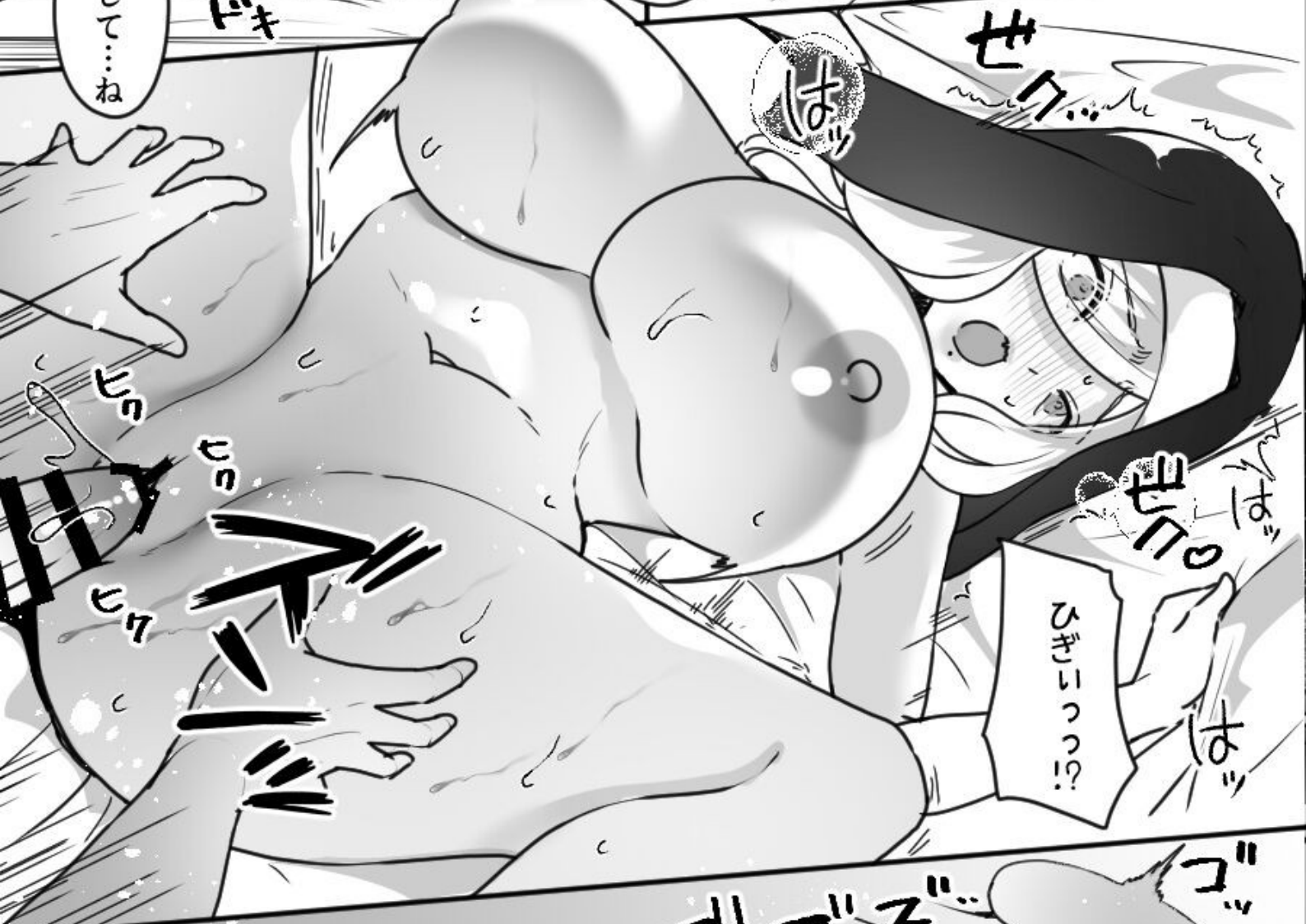
ドキ

ドキ

ス...

こうして...ね

ドキ



せ

はッ

せッ

ひきッひきッ!!

ゴッ

ブッブッブッ

はッ

ああっ!!

はッ

すすごいです
これっ...!!

はッ

私の臍肉が...
私のモノに絡み
ついてきて...



ぼ ぼくの中につ
これっ なっ なにを
入れてるんですかあっ!?

な なんですかつ
これえっ!!!



硬くて 熱くて
ビクビク動いてっ!!

あんっ♡

セク

ズン

ゴッ
ゴッ
ゴッ

ズン、ズン

はっ

はっ

はっ

ガッ
ガッ

ゴッ
ゴッ

ゴッ

ゴッ

ゴッ
ゴッ



何が起きているのか
わからないですか？
ああ そうでしたね

その身体では
大きなおっぱいが邪魔で
身体の下の方が
全然見えないのでしたね

嘘ではありませんよ

うそっ…そんなんっ…

おちんちんっ…
ぼ ぼくの…？

今 あなたのの中に入っているのは
元々あなたの身体についていたモノ…
おちんちんですよ



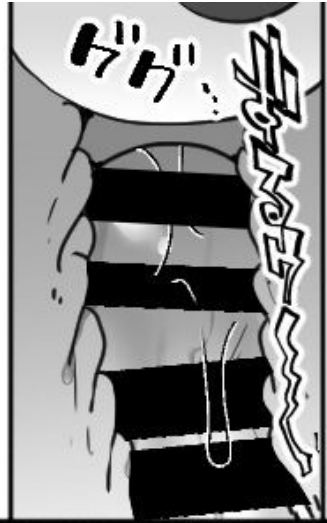
男の人のモノは
女性と交わるために
存在するのです

そ
う
だ
っ
た
ん
で
す
か
…

ええ
ですから ほら

はー

私の身体がこんなにも
気持ちよかったなんて…
自分でも知りませんでした



挿入した私のモノに
無数の膣壁がうねうねと
絡みついてきて
柔らかく締め付けてきます

ああ…これが…
男性の性欲…



目の前でゆさゆさと
揺れるおっぱいが
私の理性を狂わせます



元は少年だった
彼の身体に備わった
すさまじく巨大なおっぱい…

おおお
おおお
つっつっつっ!!

あっ…が…

や…やめ…もつやめへ…

これいじょうされたら…
ぼくこ壊れちゃいます…っ

はあ

はあ

例えるならば暴走する馬車を
非力な少女の腕では
どうしても御することが
できないように…

そう言いながらも
彼の身体はまだ私の
ペニスを激しく
締め付けてきます

理性は快楽を
拒もうとしているのに
身体の方は全くそれを
聞きいれてくれないようです

純粹な少年の
魂では成熟した
女の身体の
肉欲は抑えられない
のでしよう

何もできずにただ
身体の欲求に
振り回される彼に対して
一瞬哀れみを
覚えてしまいます

でもまだ駄目です

まだ…私の目的は…





だめですよ
まだ最後まで
いってませんから

ららめえっ…

ううごか
うごかないれっ…

あっ♡

ぽんぽん

ぽん

ぽん



あッあッ
あぁあぁ
あっ♡♡
!!

何が…



何が私のアソコから
溢れそうになってる…!

もう…我慢できない…

これが男の人の…っ!

でであるっ!!

せつ



せ 成功した…!!

これから私が
この身体の主…!!



はあ…はあ…

手を見ると
呪いの証である
紋様は綺麗に
消えていました



…という
ことは



でも 私たちの
身体は元に戻って
いません



力強くて 軽快に動かせて 若くて…
そして脳を蕩かすような
オンナの淫欲とも無縁な
この身体の…!!

これから私が
この身体での人生を
歩めるんだっ…!!

…

…





紋様が消えてる…

…?

手を見てみてください



これで私たちは
もう元の身体には戻れない

シ スター様？
いま何と言ったんですか？
よく聞き取れなくて…

か
い
っ



と言ったのですよ

…え？え？



…え？で でもなんで
呪いが解けているのに
僕たちの身体が
元に戻っていないの!?



呪いが消えたんですか？

だから言ったでしょう

私たちの魂はお互いに
今の身体に固定されたのです

もう 私たちの魂が
元の身体に戻ることはありません

あなたはこれから
一生その身体です

そ そんなっ…!!?
ど どうしてっ!?

さっき私たちがした行為…
男女が交わること

それをすると
魂がその身体に
固定されて戻らなくなる

私があなたに
かけたあの呪いは
そういうものだったんです

シ スター様が
呪いをかけた…?

じゃ じゃあ最初から
ぼくを騙していたんですか!?

なんでっ!?

なぜって その身体を
捨てたかったからに
決まっているでしょう?

そんな身体で生きていくなんて
私はまっぴらごめんでしたもの

その身体を受け継いだあなたは
これからの人生大変ですよ？

その大きなおっぱいは
歩きたびにゆきゆきと揺れて
とても邪魔ですし人目も集めます

同じように大きすぎる
お尻のせいでバランスだって
取りにくいです

まあこれからあと1年も
その身体で過ごせば
嫌でも慣れていくでしょう

いや……っ

10歳以上も年上の身体に移されたせいで
若さも失ってしまいましたね

ただでさえ大きな胸のせいで
肩も凝りやすいのに最近腰も少し痛くなっ
てきていましたから その身体

どうぞ健康には
気を付けてお過ごしください

そ そんな…

寝ても覚めても その欲求は
あなたの意識から消えることはありません

これからは毎日がんばって
自分の身体を慰めてくださいね

そして何よりつらいのは やっぱり常に
身体の奥から湧き上がってくる性欲でしょうか

あ…ああ…



…や やだっ…

いやです…これから一生この身体なんて…!

か返してっ…返してくださいっ…ぼくの…身体…

私はあなたにちゃんとお伺いしましたよ?

性行為をするかどうかすべてはあなたの お気持ち次第ですと

あなたはしたいと答えましたよね?

そうしてあなたは自分でその身体を選んだのです

その身体でこれからの人生生きていくことを選んだのです

ズル…



往生際が悪いですよ

し 知っていたらそんなことしませんでしたっ!

返してください! 僕の身体…!

せいの

せいの

わわっ!?!

あ…ああっ♡…

ふふ

いったばかりなのに
またスイッチが入って
しまったでしょう？

そうして自慰をしている姿
とてもエッチで今のあなたに
とてもよくお似合いですよ

ミアちゃんだって
その姿を見てまさか
中身があなただなんて
気が付かないでしょうね

まったくその身体は
本当に底なしに淫乱ですね

あっ…ダメなのに…

て手が…
止められない…♡



